

提案・要求などを表せば動詞の原形

233

I recommend that Mary be the captain.

メアリーをキャプテンにするのがいいね。

- 提案・要求などを表す動詞に後続する that 節では動詞の原形を用いる。
- 「～すべき」を強調したいときには「should + 動詞の原形」を使う。

① このルールが当てはまる重要な動詞



- | | | |
|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> advise (アドバイスする) | <input type="checkbox"/> decide (決定する) | <input type="checkbox"/> demand (要求する) |
| <input type="checkbox"/> require (要求する) | <input type="checkbox"/> recommend (勧める) | <input type="checkbox"/> suggest (提案する) |
| <input type="checkbox"/> propose (提案する) | <input type="checkbox"/> insist (言い張る) | <input type="checkbox"/> order (命令する) |



このルールが「？」なら、時を表す表現の理解が足りません。もし上の文が下のように現在形を使っていたとしたら奇妙に感じませんか？

× I recommend that Mary is the captain.

現在形はそもそも「現在の事実」を表す形です。Mary is the captain. が表すのは「(実際に)メアリーはキャプテンだ」という現在の事実。recommend (推薦する) 内容が事実であるわけではありません。

これらの動詞が動詞の原形を用いるのは、その内容が事実ではないからです。事実ではない内容について現在形も過去形も使うことはできません。だから「原形」が用いられるのです。

234 (1) (a) I suggest that he study much harder.

彼はもっとしっかり勉強したらいいと思う。

(b) His job requires that he wear a tie.

彼の仕事はネクタイの着用が必要だ。

(c) My mom insisted that I return home by 10 p.m.

母は私が午後 10 時までに戻るよう強く言った。

(a) で that 節の主語が he であるにも関わらず、動詞に三単現 -s がついていないことを確認しましょう。動詞は現在形ではなく「原形」なのです。(b) の require と demand は同じ「要求する」という意味の動詞ですが、require が「必要なものを要求する」のに対して、demand は当然のこととして「強く迫る」こと。(c) の insist には自分の意見の中に立ち、そこから出ていこうとしない強い執着が感じられます。「in (ある範囲に) -sist (立つ)」ですからね。

that 節の内容に強く「～すべきだ」というニュアンスを置きたいのなら、「すべき」を言語化し、should を加えます。

235 (2) I suggest that he should study much harder.

彼はもっとしっかり勉強すべきだと思う。

STEP UP!



動詞が作るパターンではなく意味の問題

「こうした動詞の従属節なら動詞は原形」と覚えるよりもよい覚え方は、「事実でないなら動詞の原形」です。この形でなくても動詞の原形は使われますからね。

My advice is that she leave him as soon as possible!

私のアドバイスは、彼女が彼とすぐにでも別れればってことだよ！

advice の内容は事実ではない、したがってこの形でも動詞は原形です。